



(Japan Skipjack tuna Society)

令和 3 年 度

## 通 常 総 会 議 案 書

\*と き 令和3年8月23日(月) 13時00分～

\*ところ Zoom Meetings によるオンライン会議

日本カツオ学会事務局

〒780-8073

高知市朝倉本町2丁目17-47 高知大学次世代地域創造センター内

TEL : 088-844-8734 FAX : 088-844-8556

E-mail : katsuo@kochi-u.ac.jp <http://www.katsuo-gakkai.jp>



(Japan Skipjack tuna Society)

## 通 常 総 会 次 第

1. 開 会

2. 会 長 挨 拶

3. 議 長 選 出

4. 議事録署名人指名

5. 議 事

第 1 号議案 令和 2 年度事業報告について . . . . . P. 1

第 2 号議案 令和 2 年度収支決算報告について . . . . . P. 4

第 3 号議案 役員人事等について . . . . . P. 6

第 4 号議案 令和 3 年度事業計画(案)について . . . . . P. 11

第 5 号議案 令和 3 年度収支予算(案)について . . . . . P. 13

第 6 号議案 その他

6. 閉 会



(Japan Skipjack tuna Society)

第1号議案

## 令和2年度事業報告

### 1. 概況報告

日本カツオ学会は、カツオに興味や関心を持つ、あらゆる人々が集い、各種の情報交換をはじめ、相互の交流と連携をもとに、調査研究を継続して行う機会、協働の図れる場づくりを目指して、産学官からなる発起人のもとに平成23年1月8日 高知県黒潮町で誕生した。

本学会は、会費収入を主たる財源としていることから、その後、徐々に発起人や関係自治体などを中心として、会員確保の活動を開始するとともに、カツオに関係する企業群にも本学会への参画について声掛けを進めて行った。

この結果、現状では(令和3年3月末)、個人会員131名、団体会員35団体、賛助会員6団体の会員登録を得るまでになっている。

例年、学会の主たる活動として「カツオフォーラム」と「カツオセミナー」を開催してきたが、令和2年度は新型コロナウイルスによる影響からカツオフォーラムとカツオセミナーの開催を断念することを、令和2年度通常総会において決定した。しかしながら、令和2年度は日本カツオ学会発足から10年目となる記念の年であり、コロナ禍においても学会活動を継続するため、「日本カツオ学会10年史」を作成することとした。

### 2. 日本カツオ学会10年史の作成

日本カツオ学会はこの10年、カツオ産業の盛んな全国各地の産・学・官の関係者、及び、カツオに興味のある人々との情報や意見交換を通して、将来にわたり、カツオに関する多面的な事業を推進することを目的に活動を推進してきた。これまでの情報の蓄積と交流の広がりを踏まえ、これからのカツオに関する議論の発展と、日本人のカツオとの「上手な付き合い方」を探るため、これまでの学会の歩みを振り返る「10年史」の作成を企画した。内容は以下のとおりである。

#### <目次>

刊行にあたって	1
1. 日本カツオ学会の軌跡と展望	2
日本カツオ学会顧問・愛媛大学副学長 若林 良和	
日本カツオ学会会長・東北大学元教授 川島 秀一	
2. カツオフォーラムの実施経過と方向性	6
日本カツオ学会顧問・愛媛大学副学長 若林 良和	



(Japan Skipjack tuna Society)

3. フォーラム開催地から	15
高知県黒潮町 (第1回・平成22年度)	
鹿児島県枕崎市 (第2回・平成23年度)	
高知県中土佐町 (第5回・平成26年度)	
宮城県気仙沼市 (第6回・平成27年度)	
和歌山県新宮市 (第9回・平成30年度)	
三重県志摩市 (第10回・令和元年度)	
4. 食に関する研究の進展	23
日本カツオ学会副会長・(株) FBT プランニング代表取締役 久塚 智明	
5. 黒潮町のカツオに関する10年間	26
黒潮町役場海洋森林課海洋森林課長 土居 雄人	
6. カツオ資源問題の解決に向けた高知県の取り組み	29
日本カツオ学会副会長・高知カツオ県民会議会長代理・高知大学理事副学長 受田 浩之	
7. カツオセミナー開催の歴史	33
日本カツオ学会事務局長・高知大学准教授 吉用 武史	
8. 「枕崎カツオマイスター検定」で、カツオ・鰹節の魅力を伝道する人材養成	36
— 日本屈指のカツオ産業都市・鹿児島県枕崎市における試み — 枕崎市役所水産商工課課長 鮫島 寿文	
9. 国土交通省広域的地域間共助推進事業による「カツオがつなぐ絆」活動	38
— カツオ漁家女性の食をもとにした防災と地域活性化に関する試み — 日本カツオ学会顧問・愛媛大学副学長 若林 良和	
10. 【対談】水産庁 神谷 崇 次長 × 日本カツオ学会副会長 受田 浩之	42
資料：登録会員数・収支状況・会費収入内訳 運営体制 (歴代役員リスト)	

令和2年度中に500部印刷し、令和3年度以降、学会会員および関係機関に発送する予定である。なお、作成にかかる諸費用(執筆者への謝金、印刷・製本費等)について、令和2年度の学会予算から50万円を計上しつつ、助成金等への申請も検討することとした。その結果、一般財団法人東洋水産財団による食品科学奨励金に申請し、50万円の奨励金を受けることとなったため、学会予算からの拠出は0円とする(令和3年3月時点でまだ作成中のため、予定となります)。

10年史はカツオに関わる全国の自治体や企業、教育機関にとって価値ある内容であることから、今後の各種学会活動の中で積極的にPRする。



(Japan Skipjack tuna Society)

(10年史表紙案)



### 3. 役員会

令和2年度通常役員会は、令和3年3月23日付けメール会議にて開催。

協議事項としては、

- ① 令和2年度事業報告について
- ② 令和2年度収支決算報告（見込み）について
- ③ 役員人事等について
- ④ 令和3年度事業計画(案)について
- ⑤ 令和3年度収支予算(案)について
- ⑥ その他

以上を協議し、通常総会へ諮ることとした。

## 【収入の部】

単位：円

費目	予算額	決算額	増減(△)額	説明
1. 会費	611,000	554,000	△ 57,000	
個人会員	111,000	54,000	△ 57,000	18人×3,000円=54,000円 合計 54,000円
団体会員	290,000	260,000	△ 30,000	26件 × 10,000円 = 260,000円
賛助会員	210,000	240,000	30,000	1団体×90,000円 = 90,000円 5団体×30,000円 = 150,000円 合計 240,000円
2. 雑入	2	503,004	503,002	
雑入	2	503,004	503,002	預金利息 4円 ゆうちょ銀行より振替分 3,000円 東洋水産財団 食品科学奨励金 500,000円 合計 503,004円
3. 繰越金	310,236	310,236	0	
前年度繰越金	310,236	310,236	0	前年度繰越し金 310,236円
<b>合計</b>	<b>921,238</b>	<b>1,367,240</b>	<b>446,002</b>	

## 【支出の部】

費目	予算額	決算額	増減(△)額	説明
1. 事業費	578,300	558,300	△ 20,000	
総会費	20,000	0	△ 20,000	0円
カツオセミナー費	0	0	0	日本カツオ学会 R2年度カツオセミナー運営費
カツオシンポジウム費	0	0	0	
学会史作成費	500,000	500,000	0	
広報費	58,300	58,300	0	学会HP年間ランニング費用 58,300円
会報費	20,000	0	△ 20,000	
2. 事務局費	78,000	11,254	△ 66,746	
事務経費	78,000	11,254	△ 66,746	振込手数料 郵便料等立替分
3. 予備費	264,938	0	△ 264,938	
予備費	264,938	0	△ 264,938	
<b>合計</b>	<b>921,238</b>	<b>569,554</b>	<b>△ 351,684</b>	

歳入歳出決算

【収入】

【支出】

1,367,240 円

-

569,554 円

=

797,686 円

を翌年度へ繰り越す。

# 監 査 報 告 書

令和2年度日本カツオ学会の会計監査の結果を下記のとおり報告いたします。

1 監査年月日 令和 3 年 6 月 25 日

## 2 監査結果

令和2年度日本カツオ学会の収支決算について監査したところ、会計諸帳簿・証票書類等、いずれも正確にかつ適正に処理され不都合な点を発見せず、正当なものと認めたので報告します。

令和 3 年 6 月 25 日

監事 増崎勝敏 

監事 和泉政彦 



(Japan Skipjack tuna Society)

第3号議案

## 役員人事について

日本カツオ学会役員(任期：2021.4.1～2023.3.31)

役職名	氏名	所属	新任・留任
会長	川島 秀一	東北大学災害科学国際研究所	留任
副会長	受田 浩之	国立大学法人高知大学理事	留任
副会長	高津 伊兵衛	(株)にんべん	新任
副会長	松本 敏郎	高知県黒潮町町長	留任
会計役	今西 和彦	高知県黒潮町	新任
事務局長	吉用 武史	高知大学次世代地域創造センター	留任
運営委員	二平 章	茨城大学人文学部	留任
運営委員	上田 不二夫	元・沖縄大学	留任
運営委員	大海原 宏	元・東京水産大学	留任
運営委員	和田 俊	元・東京海洋大学	留任
運営委員	井上 裕	高知県黒潮町	新任
運営委員	前田 祝成	鹿児島県枕崎市市長	留任
運営委員	末永 芳美	元・東京海洋大学	留任
運営委員	小倉 未基	国立研究開発法人水産研究・教育機構	留任
運営委員	山下 秀幸	国立研究開発法人水産研究・教育機構	留任
運営委員	森岡 克司	高知大学農林海洋科学部	留任
運営委員	島村 智子	高知大学農林海洋科学部	留任
運営委員	土居 幹治	マルトモ(株)	留任





(Japan Skipjack tuna Society)

監事	増崎 勝敏	大阪府立港高等学校	留任
監事	和泉 政彦	高知県土佐清水市	留任

日本カツオ学会定款より抜粋

### 第3章 役員

(種類及び定数)

第12条 本会に次の役員を置く。

会 長	1名
副会長	3名
会計役	1名
事務局長	1名
運営委員	若干名
監 事	2名

(選任等)

第13条 役員は総会において選任する。

- 2 監事については、会員以外の者から選任することができる。
- 3 監事は、他の役員を兼ねることができない。

(職 務)

第14条 省略

(任 期)

第15条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠又は増員により選任された役員任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。
- 3 役員は、辞任又は任期満了においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。



(Japan Skipjack tuna Society)

## 企画委員・編集委員の選任について

日本カツオ学会 企画委員(任期：2021. 4. 1～2023. 3. 31)

委 員	役職名	所 属	新任・留任
委員長 受田 浩之	副会長	国立大学法人高知大学理事	留任
委員 松本 敏郎	副会長	高知県黒潮町町長	留任
委員 上田 不二夫	運営委員	元・沖縄大学	留任
委員 和田 俊	運営委員	元・東京海洋大学	留任
委員 前田 祝成	運営委員	鹿児島県枕崎市市長	留任
委員 末永 芳美	運営委員	元・東京海洋大学	留任
委員 小倉 未基	運営委員	国立研究開発法人水産研究・教育機構	留任
委員 島村 智子	運営委員	高知大学 農林海洋科学部	留任
委員 土居 幹治	運営委員	マルトモ(株)	留任

日本カツオ学会定款より抜粋

### 第10章 企画委員会

(設置等)

第41条 役員会のもとに企画委員会を置く。企画委員会は企画委員長及び企画委員で構成し、企画委員長がこれを代表する。

(選任等)

第42条 企画委員は若干名とし、役員から役員会の議を経て選任する。委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

2 企画委員長は、選任された企画委員の互選による。

(職務)

第43条 企画委員会は、本会の実施する事業の企画を主管する。



(Japan Skipjack tuna Society)

日本カツオ学会 編集委員(任期：2021. 4. 1～2023. 3. 31)

委 員		役職名	所 属	新任・留任
委員長	川島 秀一	会長	東北大学 災害科学国際研究所	留任
委員	二平 章	運営委員	茨城大学人文学部	留任
委員	大海原 宏	運営委員	元・東京水産大学	留任
委員	井上 裕	運営委員	高知県黒潮町	新任
委員	山下 秀幸	運営委員	国立研究開発法人水産研究・教育機構	留任
委員	森岡 克司	運営委員	高知大学 農林海洋科学部	留任

日本カツオ学会定款より抜粋

#### 第 11 章 編集委員会

(設置等)

第 44 条 役員会のもとに編集委員会を置く。編集委員会は編集委員長及び編集委員で構成する。

(選任等)

第 45 条 編集委員は、役員から役員会の議を経て選任する。委員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。

2 編集委員長は、選任された編集委員の互選による。

(職務)

第 46 条 編集委員会は、本会の発行する会誌その他の出版物の編集業務を主管する。



(Japan Skipjack tuna Society)

## 顧問の委嘱について

日本カツオ学会 顧問(任期：2021.4.1～2023.3.31)

役職名	氏名	所属	新任・留任
顧問	宮原 正典	国立研究開発法人水産研究・教育機構	留任
顧問	若林 良和	愛媛大学南予水産研究センター	留任
顧問	<u>久塚 智明</u>	<u>(株)FBTプランニング</u>	新任

日本カツオ学会定款より抜粋

### 第4章 顧問

(顧問)

第18条 本会に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、学識経験のある者又は本会に功労のあった者の中から総会の承認を経て、会長が委嘱する。
- 3 顧問は、会長の諮問に応じ会議に出席し、意見を述べることができる。ただし、表決に加わることはできない。
- 4 顧問は、無報酬とする。
- 5 顧問の任期は、委嘱した会長の在任期間とする。ただし、再任を妨げない。



## 令和3年度事業計画(案)

日本カツオ学会は、平成23年1月8日の発足以来、9年目を迎え、カツオフォーラム、カツオセミナーを開催し、カツオ学会関係者並びにカツオ産業関係者の皆様が本学会活動を通じて、カツオの資源・経済・社会・文化など多様な価値を問い直すことを念頭に、各種事業展開を行ってきた。しかしながら、令和2年度は新型コロナウイルスの蔓延と全国緊急事態宣言などにより、例年通りの各種事業実施は困難となり、令和3年度も暫くはその影響は引き続くものと思われる。したがって、令和3年度計画事項は、新型コロナウイルスの状況を鑑みて実施方法や時期等を検討するものとする。

### 1. 令和3年度「カツオセミナー&フォーラム」の開催

(1) 日時：令和3年度秋冬頃

(2) 会場：高知市内

(3) 開催形式：会場集客とオンラインのハイブリッド

(4) テーマ：カツオとの上手な付き合い方を目指して～カツオ学会10年の足跡と未来～

(5) プログラム

開会挨拶・・・・・・・・川島会長

基調講演・・・・・・・・崎田恭平氏（㈱飢肥社中 代表取締役、日南市 前市長）

市長を2期8年務めたご経験から、カツオを通じたまちづくりについて。

令和3年2月 日本農業遺産認定：造船材を産出した飢肥（おび）林業と結びつく「日南かつお一本釣り漁業」

基調講演・・・・・・・・高津伊兵衛副会長（㈱にんべん代表取締役社長）

1699年の創業以来の事業展開の歴史について。また、今後の日本食文化の未来に向けた鰹節の可能性について。

特別講演・・・・・・・・若林良和顧問（愛媛大学理事、カツオ学会初代会長）

カツオ学会10年史を中心に、カツオ学会の足跡について

パネルディスカッション・・・・・・・・ファシリテーター：(未定)

パネリスト：(未定)

コメンテーター：崎田氏、高津副会長

閉会挨拶・・・・・・・・松本副会長

交流会・・・・・・・・実施しない



(Japan skipjack tuna Society)

## 2. 会員の確保

地域・領域・学問・立場など様々なレベルを超えて、つむぎ合うために、全国のカツオに興味や関心を持つ多くの人に参加を呼び掛け、学会の発展を目指す。

また、年度の切り替え時期には、最も多い個人会員の人事異動などを考慮して、関係機関においては、会員の維持・確保に向けた対応を積極的に行っていく。

## 3. 恒常的事業

### (1) 日本カツオ学会ホームページの充実

平成23年9月に立ち上げた本学会のホームページの充実を図るとともに、会員相互の情報交換の場として活用、展開していく。

また、会員相互の情報交換に加えて、社会に発信すべきカツオの価値の再認識に繋がる活動や情報等、本学会が協力する他機関の活動も含めて学会ホームページを活用した発信を適宜行う。

### (2) 日本カツオ学会会報誌の発行

本学会活動を広く広報し周知を図るために、引き続き会報誌を発行する。発行回数は2回を目標とする。

### (3) 役員会及び企画委員会と編集委員会の開催

必要に応じて、臨時役員会や両委員会の開催を行う。特に、企画委員会と編集委員会にあっては、メール会議等を活用して各委員に周知を図りながら、意見集約を行い、より多くの意見が結果に反映できるように対応していく。

## 収入の部

単位:円

費目	前年予算額	予算額	増減額	説明
1. 会費	611,000	554,000	△ 57,000	
個人会員	111,000	54,000	△ 57,000	18人 × 3,000円 = 54,000円
団体会員	290,000	260,000	△ 30,000	26団体 × 10,000円 = 260,000円
賛助会員	210,000	240,000	30,000	8口 × 30,000円 = 240,000円
2. 雑入	2	4	2	
雑入	2	4	2	預金、金利(令和2年度利息実績額)
3. 繰越金	310,236	797,686	487,450	
前年度繰越金	310,236	797,686	487,450	
<b>合計</b>	<b>921,238</b>	<b>1,351,690</b>	<b>430,452</b>	

## 支出の部

単位:円

費目	前年予算額	予算額	増減額	説明
1. 事業費	598,300	398,300	△ 200,000	
総会費	20,000	20,000	0	
カツオセミナー費	0	100,000	100,000	日本カツオ学会 R3年度カツオセミナー&フォーラム運営費
カツオシンポジウム費	0	200,000	200,000	
学会史作成費	500,000	0	△ 500,000	
広報費	58,300	58,300	0	HP維持費 58,300円
会報費	20,000	20,000	0	会報誌発行(10,000円×2回)
2. 事務局経費	78,000	78,000	0	
事務経費	78,000	78,000	0	通信運搬費 20,000円 監事旅費(1人分) 13,000円 土佐清水～黒潮町(1泊2日)13,000円 消耗品等 45,000円
3. 予備費	244,938	875,390	630,452	
予備費	244,938	875,390	630,452	
<b>合計</b>	<b>921,238</b>	<b>1,351,690</b>	<b>430,452</b>	